

大田ふるさと学習

わたしたちの 三瓶山



大田市教育委員会

石見國与出雲國之堺有名佐比賣山是也

右ページの写真は、大田市川合町の鶴降山（537m）の山頂から見た三瓶山。左から、男三瓶山、子三瓶山、孫三瓶山が連なります。

上の文は、出雲國風土記に記された国引き神話の一部です。

大田ふるさと学習

わたしたちの三瓶山



もくじ

| | | | |
|----|-----------|-------|-----|
| | はじめに | | P3 |
| 1 | 国立公園・三瓶山 | | P4 |
| 2 | 草原が広がる風景 | | P6 |
| 3 | 三瓶山自然林 | | P8 |
| 4 | 希少な植物と昆虫 | | P10 |
| 5 | 遠くから見える山 | | P12 |
| 6 | 三瓶山の気象と水 | | P14 |
| 7 | 火山活動の歴史 | | P16 |
| 8 | 三瓶小豆原埋没林 | | P18 |
| 9 | 大昔の人々と三瓶山 | | P20 |
| 10 | 三瓶山地域の農業 | | P22 |
| 11 | 三瓶山の観光 | | P24 |
| 12 | 陸軍演習地の歴史 | | P26 |
| 13 | 神話と昔話 | | P28 |
| | 三瓶山の地図と資料 | | P30 |

はじめに

標高 1,126 メートル。ひときわ高くそびえる三瓶山は、古くから大田市民に親しまれてきた、ふるさとのシンボルです。島根県を代表する山でもあり、「出雲國風土記」が伝える国引き神話では、海の彼方から国を引き寄せた綱を留めた杭に見たてられています。

三瓶山は国立公園に指定されています。火山噴火で生まれたいくつもの峰が並ぶ姿が特徴で、とても美しい風景です。山すそに広がる草原では、春から秋の終わりまでさまざまな草花を見ることができます。三瓶山自然林には中国地方では珍しいブナの森が茂っています。全国的には少なくなった昆虫や植物も見られます。この変化に富んだ自然環境は、人が山野を牧草地や田畑などに利用することで、長い時間をかけて育まれました。この環境に魅力を感じて、登山や観光に訪れる人は年間約 60 万人に達します。

三瓶山には、自然と人の関わりがほどよくつり合いながら育まれた環境と歴史、文化があります。たくさんの魅力に満ちたふるさとの山、三瓶山と一緒に学んでみませんか。



1 国立公園・三瓶山



西の原草原と、男三瓶山(左)、子三瓶山(右)

こんもりした^{みね}峰が並び、山すそに草原が広がるおだやかな風景が、三瓶山の^{とくちょう}特徴です。この自然景観が^{しぜんけいかん}すぐれていると^{ひょうか}評価されて、三瓶山は国立公園に指定されています。

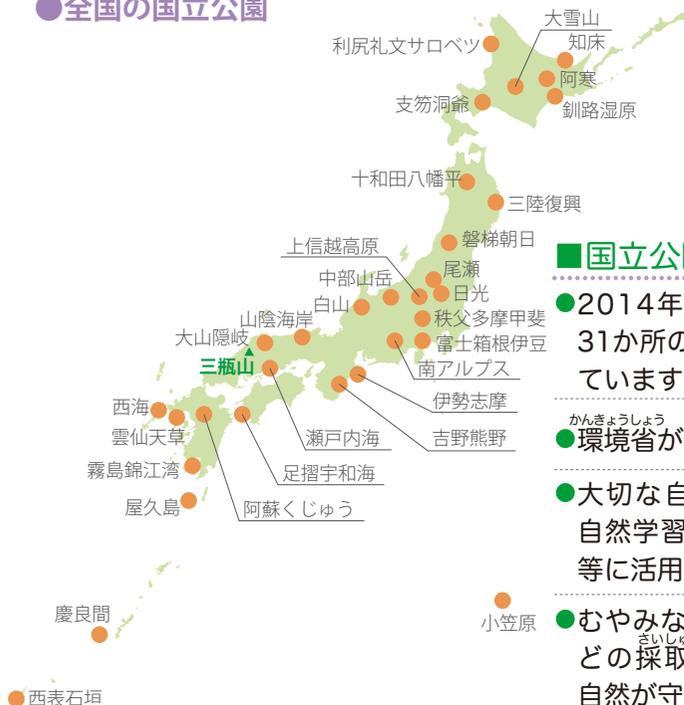
● 国立公園の範囲と指定の区分



三瓶山は、湯抱温泉^{ゆがかえ}を含む2,679ヘクタールが、国立公園に指定されています。なかでも、室ノ内は^{むろのうち}生き物や土砂の採取が^{せいげん}びしく制限された特別保護地区に指定されています。

? これまでに三瓶山についてどんなことを知っていたかな？

●全国の国立公園



■国立公園は・・・

●2014年3月時点で、国内で31か所の国立公園が指定されています。

かんきょうしょう
●環境省が管理します。

●大切な自然を守るとともに、自然学習やレクリエーション等に活用することが目的です。

●むやみな開発と植物や動物などの採取を制限することで、自然が守られています。

三瓶山は、大山隠岐国立公園三瓶山地区として、国立公園に指定されています。

三瓶山は、昭和38(1963)年にひるぜん蒜山(岡山県)、おき隠岐、島根半島とともに、「大山国立公園」に組み込まれ、同時に、公園名が大山隠岐国立公園に変更されました。指定のおもな理由は、ようがん溶岩でできたこんもりした峰(溶岩円頂丘)が集まる火山地形と、ほうぼくち放牧地として使われていた広い草原に牛がたたずむ風景がすぐ優れているということでした。現在、草原は西の原、北の原などの一部に限られますが、当時は子三瓶山や孫三瓶山の山頂までの広い範囲が草におおわれていました。

国立公園に指定されたことで、三瓶山の自然は必要以上の開発から守られています。一方で、放牧地としての利用が昔よりも少なくなったことで、指定当時と比べると草原の範囲ははんい狭くなっています。三瓶山の自然をどのような形で守り、どう活かすかということは、将来へ向けて私たちが考えていくべき課題と言えるでしょう。

2

草原が広がる風景



ススキが揺れる西の原草原



早春に行われる野焼き

山すそに広がる草原は、三瓶山の大きな特徴です。草原は、^{ぼく}畜などに利用することで作られ、^{たも}保たれてきた環境です。

三瓶山では江戸時代から牛が盛んに飼育され、^{ほうぼくち}放牧地や^{ぼくそうち}牧草地として草原が使われてきました。

長年、草原が保たれてきたため、三瓶山では草原ならではの植物を多くみることができます。

❗ 草原は使わずに放っておくと、森林に変化するよ。

放牧の牛がたたずむ西の原



レンゲツツジは、毒どくがあるために牛が食べ残し、放牧地に増えた植物です。三瓶山に多く、大田市の花に選ばれています。



民家の多くがカヤぶき屋根だった時代には、ススキは大切な資源だったので、手をかけてススキの草原を管理しました。



草原の風景は、三瓶山の大きな特徴のひとつです。短く刈り込まれた芝生の広場ではレクリエーションなどを楽しむ人々の姿がみられ、ススキの原や放牧地、牧草地が広がります。この風景は、人が草原を利用し、管理することでできあがったものです。

三瓶山では、江戸時代から牧畜が行われてきました。牧草地として利用するため、樹木を切り倒し、草地に変えていきました。国立公園に指定された昭和38(1963)年頃は、山のふもとだけでなく、子三瓶山や孫三瓶山の山頂まで広い範囲が草原でした。また、昔の民家の多くは、ススキの茎などを活用した「カヤぶき屋根」で、草原は屋根に使う材料を取る場所としても使われました。

日本列島は、温暖な気候と年間 1,500mm程度にも達する雨に恵まれています。樹木の生育に適した気候のため、草原を放っておくと、数十年で森林に変わります。牛の放牧が行われている場合は、若木が牛に食べられるために樹木が育たず、草原が保たれます。放牧地以外では、野焼きや草刈りを行うことで草原が維持されます。現在、春先に西の原で行われている野焼きは、古くから行われてきた草原の管理方法です。

草原の利用価値が小さくなるとともに、全国的に草原が少なくなり、三瓶山に残る風景は珍しいものになっています。その草原も昔に比べるとずいぶん狭くなり、森林に変化した部分もあります。

3

三瓶山自然林



高い木が茂る三瓶山自然林の林内

男三瓶山の北斜面と室ノ内に広がる三瓶山自然林は、自然のままの様子が残る貴重な森で、国の天然記念物に指定されています。三瓶山自然林では標高によって樹木の種類が変化する様子を観察することができ、山頂近くではブナが森を作っています。ブナが生い茂る森は、中国地方では珍しい存在です。



ブナの幹。木の肌はすべすべしていて、モザイク状の模様が見られます。



三瓶山自然林では、高い木の下に、低木のクロモジの木が目立ちます。



林内でよく見られるコアジサイの花。ヤマアジサイもよく見られます。

? 身近な場所にある林にはどのような特徴があるかな？



出雲市多伎町奥田儀の「田儀桜井家製鉄遺跡」。



唯一、建物が残る、雲南市吉田町の「菅谷たたら」。



昔は炭を燃やして砂鉄を溶かし、鉄を作りました。

島根県では、江戸時代を中心に製鉄が盛んに行われました。原料の炭を作るために山の木が多量に使われ、山林の開発が進みました。現在の島根県の山林は、炭用の木を切った後に生えた「二次林」とスギなどの植林地が大部分を占めています。

男三瓶山の北斜面から室ノ内^{むろのうち}にかけての範囲には、人による開発の影響をあまり受けていない森が広がっています。高さが20～30mに達する高い木が茂り、春から秋には野鳥のさえずりが響く、心地よい森です。この森は、「三瓶山自然林」の名称で国の天然記念物に指定されています。

三瓶山自然林は、おおむね標高650mから山頂近くの標高1,100m付近までの範囲にあり、平地に比べて涼しい気候に適した樹木が茂っています。国立三瓶青少年交流の家に近い「名号登山口^{みょうごうとざんぐち}」から登ると、標高によって樹木の種類が違う様子を観察できます。登りはじめのあたりは、シデの仲間やミズナラ、ミズキの仲間などが目につきます。低木では、クロモジやコアジサイなどが目立ちます。標高800m以上ではブナが混じるようになり、標高850mから標高1,050m付近は、ブナが圧倒的に多い森です。三瓶山自然林の樹木は、冬になると葉を落とす落葉広葉樹^{らくようこうようじゆ}が大半です。冬にも緑の葉がある常緑樹^{じょうりよくじゆ}としては、スギやマツが点在しているほか、ハイヌガヤなどの低木が見られます。

もともと、中国地方の山間部では三瓶山自然林のような森が広く分布していたと考えられています。しかし、江戸時代に盛んだった「たたら製鉄」に使う炭を作る目的などで、山地の樹木を使った結果、自然状態の森はほとんど消えてしまいました。三瓶山自然林は、本来の森の姿を知る貴重な存在なのです。
